

科目名	哲学					単位	2.0
担当教員	竹下 至						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	1	授業番号	4312

●授業のテーマ

科学哲学の初歩を学ぶ

●到達目標

- ・科学の一般的な方法論について理解する。
- ・科学と社会の関係と、両者の境界で生じるいくつかの問題について知る。

●学習内容(授業概要)

哲学はありとあらゆる事柄を思考の対象としてきました。そして科学という知的活動そのものを思考の対象とする哲学的研究は科学哲学と呼ばれています。本授業では、この科学哲学の初歩的な部分について学びます。授業の前半は科学の方法論について、後半では科学と社会の関係性について学習します。

●学習内容(授業計画)

1. イントロダクション：科学について理解する必要性
2. 「理論・仮説」と「事実」はどう違うのか
3. より良い理論・仮説とは何か
4. 「説明する」とは何をすることなのか
5. 理論・仮説はどのように立てられ、また確かめられるのか
6. 理論・仮説を検証するためにはどういう実験・観察をしたらよいか
7. 実験設計と解釈の難しさ
8. 前半のまとめ
9. 科学と社会の相互作用
10. 科学リテラシーを学ぶ理由
11. 科学リテラシーのエッセンス
12. 不確実性をどのように受け止めるべきか
13. リスクは誰が決めるのか
14. 疑似科学をどのように扱うべきか
15. 後半のまとめ

●準備学習・事後学習の内容

予習としてテキストの該当箇所を読んでおく。

●成績評価方法・基準

課題（100%）

●テキスト（必携）

戸田山和久『『科学的思考』のレッスン—学校で教えてくれないサイエンス』（NHK 出版新書）

●参考文献／その他

●履修上の注意